

施策評価シート

施策等名称	糖尿病対策	体系番号	0101010503
		主管課	健康づくり推進課

1 施策基本情報

現状と課題	糖尿病が重症化すると、人工透析が必要になったり、足の切断、失明などの危険が出てきます。そのため、糖尿病のある方は、血糖をコントロールする必要があります。薬物療法だけでなく、食事療法と運動療法も合わせて行う必要があるため、コントロールすることが難しい方も多くいます。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	糖尿病性腎症により、新規に人工透析導入となる人を減らすことを目指します。 糖尿病の治療中断者を減少させることで、糖尿病合併症の抑制につなげます。 血糖コントロール不良の方を減らすため、食事療法や運動療法について保健指導を行っていきます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	糖尿病性腎症により新規に人工透析になる人	糖尿病腎症が原因での透析導入者数(人)	2.00	減らす
②	糖尿病の治療中断者	糖尿病の治療を中断している人(人)	5.00	減らす	減らす
③					

施策の柱 1	名称	糖尿病対策	主管課	健康づくり推進課			
	詳細	糖尿病の重症化を予防するため健診の受診勧奨と保健指導を行います。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	糖尿病性腎症により新規に人工透析になる人	糖尿病腎症が原因での透析導入者数(人)	2.00	減らす	1 特定健診事業	実施
						2 40歳未満健診事業	実施
	2	糖尿病の治療中断者	糖尿病の治療を中断している人(人)	5.00	減らす	3 高齢者健康診査事業	実施
						4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の体系	名称		主管課			
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
					2	
	2				3	
					4	
	3				5	
					6	
	基本政策間連携					

施策の柱 3	名称		主管課			
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
					2	
	2				3	
					4	
	3				5	
					6	
	基本政策間連携					

施策等名称	糖尿病対策	体系番号	0101010503
		主管課	健康づくり推進課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	糖尿病性腎症により新規に人工透析になる人	2.00	3.00	7.00	3.00	4.00	1.00
1		減らず	前年比増加	前年比増加	前年比減少	前年比増加	前年比減少
変動要因等	2018年度	糖尿病の治療をしている方が、腎機能悪化により人工透析となっていた。前年より1人増加となっている。					
	2019年度	昨年度に比べて、糖尿病の治療をしても透析導入となった人が新たに7人となってしまった。					
	2020年度	3人中1人は転入者、1人は社保から国保に異動した人だった。					
	2021年度	糖尿病性腎症により新規に人工透析になった人は4人、昨年度より1人増加した。					
	2022年度	糖尿病性腎症により新規に人工透析になった人は1人、昨年度より3人減少した。					
施策	糖尿病の治療中断者	5.00	0.00	1.00	4.00	2.00	2.00
2		減らず	前年比減少	前年比増加	前年比増加	前年比減少	前年並み
変動要因等	2018年度	治療中断者への指導を行い、2019年2月時点で対象の方は受診していた。					
	2019年度	治療中断者への指導を行った。受診したがすぐに治療中断となってしまった方が1名いた。					
	2020年度	コロナの影響もあり、受診控えの方が増えた可能性がある。					
	2021年度	健診を受けて治療につながったが、治療中断になった方がいた。					
	2022年度	健診を受けて治療につながったが、治療中断になった方がいた。					

施策等名称	糖尿病対策	体系番号	0101010503	
		主管課	健康づくり推進課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)		2019年 (前年度比)		2020年 (前年度比)		2021年 (前年度比)		2022年 (前年度比)		
投資額	事業費(円)	52,183,277		54,543,529	1.05	49,111,232	0.90	50,012,989	1.02	54,449,587	1.09	
	うち一財(円)	1,095,510		939,548	0.86	1,061,766	1.13	0	0.00	1,436,827	#####	
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)							予算の組替あり 40歳未満健診は国保予算へ、R3年度は一般財源から補助金等で振替えたため				
進捗評価		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている		おおむね順調		
総合評価	主な取組内容や成果	糖尿病管理台帳を作成し、未治療者や特定健診未受診者を訪問した。HbA1c6.5以上の人で治療をしていない人に受診勧奨を行った。糖尿病治療中の特定健診受診者に保健指導を行った。		糖尿病管理台帳の作成を行い、未治療者や治療中断者、コントロール不良者への指導を行った。特定健診を受けていない人への受診勧奨も行った。特定健診を受けることで、糖尿病の治療が開始できた方もあり、重症化の防止になった。		糖尿病管理台帳を作成し、未治療者、治療中断者の把握を行って、保健指導を実施している。また、特定健診等を受診した方の中で、受診が必要な方への保健指導は、全員に実施した。		糖尿病管理台帳を作成し、未治療者、治療中断者の把握を行って、保健指導を実施している。また、特定健診等を受診した方の中で、受診が必要な方への保健指導は、全員に実施した。		(R4評価)糖尿病管理台帳を作成し、未治療者、治療中断者の把握を行って、保健指導を実施している。また、特定健診等を受診した方の中で、受診が必要な方への保健指導は、全員に実施した。 (総括評価)糖尿病管理台帳を作成し、発症予防、重症化予防の保健指導を実施している。		
	課題	糖尿病の治療が必要でも、受診しない方がいること。治療をしても悪化している方がいること。		治療中断者や未治療者が減少しないこと。糖尿病のある方の人工透析導入者が増えていること。		治療中断者が増えてしまっていること。どうしても治療したくない方がいること。		治療中断者が増えてしまっていること。どうしても治療したくない方がいること。		(R4評価)65歳以上のコントロール不良者が増えている。 (総括評価)発症予防や重症化予防の保健指導を実施しても、治療中断者やコントロール不良者がいること。		
改革・改善	改革・改善内容	糖尿病の治療が必要でも、受診しない方には、引き続き訪問して受診勧奨を行う。		糖尿病管理台帳を作成することで、指導が必要な対象者に地区担当者が必ず保健指導を行うようにする。主治医との連携を行う。		糖尿病管理台帳を作成することで、指導が必要な対象者に地区担当者が必ず保健指導を行うようにする。主治医との連携を行う。		糖尿病管理台帳を作成することで、指導が必要な対象者に地区担当者が必ず保健指導を行うようにする。主治医との連携を行う。		(R4評価)糖尿病管理台帳を作成することで、指導が必要な対象者に地区担当者が必ず保健指導を行うようにする。主治医との連携を行う。 (総括評価)糖尿病管理台帳を作成し、保健指導を行い、主治医と連携する。		
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1	
		重点業務	1		1		1		1		1	
	理由	糖尿病のある方を発見するためには、特定健診を受けていただくことが必要になるため、受診者を増やしていくことが必要。		糖尿病のある方を発見するためには、特定健診を受けていただくことが必要になるため、受診者を増やしていくことが必要。		糖尿病のある方を発見するためには、特定健診を受けていただくことが必要になるため、受診者を増やしていくことが必要。		糖尿病のある方を発見するためには、特定健診を受けていただくことが必要になるため、受診者を増やしていくことが必要。		糖尿病のある方を発見するためには、特定健診を受けていただくことが必要になるため、受診者を増やしていくことが必要。		